

# 平成24年度 第10回 市民と市長の対話集会 市長と語ろう!ほっとミーティング

## 開催結果報告書

- 1 開催日時 平成24年(2012年)11月20日(火)  
午後7時から午後9時まで
- 2 開催場所 吉沢公民館 ホール
- 3 テーマ 吉沢地区のまちづくり
- 4 出席者 参加者11名 傍聴者18名



吉沢公民館での集会の様子

## 5 市長あいさつ

皆様、こんばんは。本日はお忙しい中、この対話集会「市長と語ろう！ほっとミーティング」に御参加いただき本当にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

毎回お話をさせていただきますが、昨年3月11日に東日本大震災が起きました。私も昨年の就任以来、市民の皆様の安心安全を守るため、真摯に防災対策に取り組んできました。今後も、安心安全を守る対策を続けさせていただきます。この対話集会においても、昨年度は防災対策をテーマに4回開催させていただきました。花水、金目、四之宮、中原地区に伺い、地域の皆様の防災対策へのお考えを聞かせていただきました。

今年度は「あなたの地域のまちづくり」をテーマに、地域の皆様のまちづくりに対する御意見を市政に反映したいと考え、市内各地域を回って対話集会を開催させていただいています。先日11月10日には、松原地区で9回目の開催を終え、この吉沢地区は10回目の開催です。

平塚市の各地域には豊富な歴史や文化があり、優秀な人材がいます。特に、吉沢地区の自治会連合会や地区社協、団体の取り組みからは、この地域の素晴らしさを感じています。防災対策など、行政が行うべきことは責任を持って進めます。同時に、私は地域の皆様が地域の特徴や課題を捉え、地域のまちづくりに取り組んでいただける姿こそが、現代における一番望ましい自治のあり方であると考えています。

本日いただいた御意見に対して、この場でお答えできないこともあるかと思えます。その時には、担当課に確認して皆様にフィードバックさせていただきます。本日はよろしく願いいたします。

## 6 主な対話集会の内容

### ① 幹道15号について

#### 【参加者】

日向岡トンネル開通後、幹道15号は年々交通量が増え、歩行者の安全が脅かされています。幹道15号は小学生や中学生の通学路でもありますが、歩道は狭く、歩行者がすれ違うことも困難です。また、カーブも多く、見通しがとても悪い道路です。財政面での難しさはあると思いますが、1日も早い道路や歩道の拡幅工事が必要です。

#### 【市長】

幹道15号への要望は、自治会連合会や地域の皆様から多くいただいています。地元の坂間議員の御意見からも、重要性は認識しています。御意見のとおり、歩道はありますが、安全のためには十分といえません。全線を一度に改修することは難しいですが、できるところから測量を行って着手しているのが現状です。今後も着実に改修を行っていきたいと考えますので、地権者の方を含めて御協力をお願いいたします。

幹道15号の通学路について、来年度から、めぐみが丘に住む児童は原則本来の学区である土沢中学校に入学していただくことになりました。幹道15号における通学路の安全確保や防犯対策は必要です。子どもは平塚市や地域の宝です。安心して通学していただくための環境づくりを進めていきたいと考えますので、地域の皆様の御協力をお願いいたします。

#### 【参加者】

幹道15号の改修工事について、第1期と第2期の計画は決まっていますが、第2期以降の計画はどのようになっていますか。

#### 【市長】

第2期以降の測量や地域説明も行われていると思います。できるだけ早く、全線の用地買収を含めた道路や歩道の拡幅を行いたいと思いますが、十分な予算を確保できないことを大変申し訳なく思います。めぐみが丘に住む児童の土沢中学校への入学も含め、行政は地域の皆様をお願いをするからには、目に見える形で対策を行わなければ、地域の皆様の御理解を得ることはできません。現在の改修や次回の予定など、着実な計画をお示ししていく必要があります。これまでの経過や今後決まっていることについては、改めて回答させていただきます。

**担当課回答**（集会後、次のとおり担当課に確認しました。）

幹道15号（吉沢・土屋線）の改修については、第1期工事として、中沢橋からめぐみが丘入口までの拡幅工事が完了し、第2期工事として、めぐみが丘入口から吉沢公民館までの拡幅工事を予定しています。

吉沢地区自治会連合会より要望されている吉浜バス停の改修については、地権者交渉に着手したところです。その後の改修箇所については、急なカーブで危険な箇所を優先的に整備を進めてまいります。

また、幹道15号の歩道は土沢中学校への通学路となっていますが、歩道幅員が狭いことから、拡幅整備を計画しています。現在の道路の外側に官地がある場所から歩道を広げてまいります。次に、畑など用地買収が可能な場所の歩道を拡幅する予定です。用地買収には地権者の協力が不可欠ですので、地元自治会の御協力をいただきながら事業を進めてまいります。

（事務担当は道路整備課道路計画担当）

## ② 市街化調整区域について

### 【参加者】

「湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会」にて、活動しています。吉沢地区には、人口の減少や耕作放棄地の増加、公園の不足などの課題がありますが、その全てに市街化調整区域が関わります。ここで、市街化調整区域の土地利用方針が出され、解決の兆しが少しずつ出てきたように思います。方針では、市街化調整区域を「保全エリア」、「まちづくりエリア」、「人と自然との共生エリア」に分けて土地利用の整序を図りますが、この吉沢地区は「人と自然との共生エリア」に該当すると思われます。吉沢地区の活性化のために、できるだけ早く、吉沢地区の区分を決めていただき、土地利用の方向性を示していただきたいと思ひます。

### 【市長】

御意見のとおり、市街化調整区域には都市公園を建設することもできません。4月に用途地域変更の権限が県から市におりてきましたが、肝心な市街化区域と市街化調整区域の線引きを行う権限は県にあります。また、食料自給率を保つためには農地を守る必要があること、平塚市全体の人口が減少していることなどから、市街化を広げる必要がないという御意見もあります。今の段階で、市街化調整区域を市街化区域に編入することは困難な面が多くあります。

そこで、打ち出したものが市街化調整区域の土地利用方針です。方針における吉沢地区の区分は、平塚市全体のまちづくりにおける吉沢地区の位置付けによって決まると考えられます。区分によっては、幹道15号の充実や東西ラインの強化などを図って地域の利便性を高めることなど、地域の皆様によって地区計画の意向をまとめていただいた上で、市街化と同様の利便性を求める取り組みを進めていただく方法もありますので、今後行政は地域の皆様と一緒になつて吉沢地区の活性化を考えていきたいと思ひます。

### ③ 吉沢保育園について

#### 【参加者】

先日、吉沢保育園の運動会に招待していただきましたが、保育園施設は手狭な印象を受けました。建物は築45年と古く、耐震性にも問題がありそうです。また、吉沢保育園は入園希望も大変多いそうです。現在は定員60名のところに、65名の園児がいるそうです。耐震工事に併せて、園児の定員増加も検討する必要があると思います。今は夫婦共稼ぎが当たり前の時代ですので、保育園の充実は必要です。

#### 【市長】

御意見のとおり、吉沢保育園の耐震性には疑問があります。建て替えも含めて考える必要があります。今、保育園の需要や必要性は高まっています。おかげ様で、昨年4月に平塚市の待機児童は0名になりました。しかし、待機児童の課題は潜在的にあり、現代は子どもを預けて働きに出たいと考えるお母さんが増えています。以降少しずつ増え、現在は待機児童が130名います。今後保育園の需要は増え続ける見込みです。そこで、吉沢保育園を建て替えるなら、平塚市の西部地区の子どもをある程度受け入れられる施設を考える必要があります。さらに、この吉沢公民館も非常に古い建物で、現在改修が予定されている大野公民館に続く改修は吉沢公民館であろうとされています。この公民館の大きな土地を利用し、公民館と保育園の建て替えを一体に考えていく方法もあると思います。

予算を確保できれば、早急に行いたいことですが、残念ながら年々税収は減っています。また、現在、新庁舎建設、環境事業センター整備、市民病院整備という3大事業を行っています。広報ひらつかなどでも進捗状況を御報告させていただいていますが、市民サービスのために不可欠な事業であり、着々と進めさせていただいています。決して市民サービスの土台を崩すことなく、施設の建て替えなど、様々なことの重点項目を決めて計画的に行っていきたいと考えます。公民館や保育園の改修を行わないのでなく、今は我慢していただき、全体的な計画の中で着実に進めていきます。そのために、しっかりと地域の皆様には説明をさせていただきます。さらに、計画に至った時には、地域の皆様と一緒に考えて進めていきたいと思っております。

#### ④ 五領ケ台高校跡地について

##### 【参加者】

五領ケ台高校跡地に、県の新しい施設ができることを聞きました。以前、五領ケ台高校は災害時のために、地域住民の避難所に指定されていました。以前と同様に、新しい施設を災害時の避難所として使用できるよう、県に働きかけてほしいです。

##### 【市長】

五領ケ台高校は神田高校と統合されて湘風高校になりました。今年2月、県が五領ケ台高校跡地の利活用として、児童の自立支援拠点の整備を発表しました。9月頃には、県による説明会も開催されました。敷地の半分に、乳児院や児童養護施設、障がい児の入所施設、情緒障がい児の短期入所施設などの児童の自立支援拠点を造る計画とのことです。県も財政状況は非常に厳しく、自ら開催する緊急財政対策本部の調査会では、県有施設の全廃、県の補助金の一時凍結及び抜本の見直しという大きな方針を打ち出したところです。そのような状況の中、五領ケ台高校跡地の残り半分以上を平塚市に提供することは難しいことで、土地を売却して財源にしたいと考えています。しかし、公的な新しい施設ができるので、建設予定の施設は地域の皆様のためにも使用できる方法を検討してもらおうよう、県知事にも直接伝えていきます。

##### 【参加者】

県の担当課に電話で確認したところ、五領ケ台高校跡地に造られる施設の詳細は未定とのことでした。お話のとおり、跡地の残り半分以上を平塚市に提供してもらうことは難しいと思います。しかし、去年の東日本大震災から災害対策が問いただされる今、新しい施設を造るなら、防災対策のための機能も盛り込んでほしいです。

##### 【市長】

平塚市には県立の学校など、多くの県有施設があります。県の教育委員会とは、災害が起きた時に地域の皆様が避難するために、「災害時における避難所及び防災訓練会場としての施設使用に関する協定」を結んでいます。平塚市と同様に、県は県民の皆様の安心安全を守るため、しっかりと防災対策に取り組む必要があります。五領ケ台高校跡地に新しい施設ができた時には、地域の皆様の安心安全のために、皆様が避難する場所や備蓄の用意などのソフト面の対策においても、県と協力して行っていきたいと考えます。

## ⑤ 農業について

### 【参加者】

高齢化や後継者不足により、農業従事者は減って吉沢地区の畑は荒れています。また、近年は鳥獣被害が甚大です。小動物による被害だけでなく、最近ではイノシシやシカによる被害が後を絶ちません。イノシシは猟友会による射殺が認められていますが、シカに対しては認められていません。市役所や農協と協力して対策を講じていますが、被害は減りません。

### 【市長】

私も農家の人間です。鳥獣被害によって農業を諦め、さらに耕作放棄地が増えることは平塚市にとっても大きな痛手です。外敵が多いことによる農業の魅力が失われることも、さらなる後継者不足につながります。今年から捕獲檻を含めた鳥獣被害に対する助成をはじめました。助成による対策をはじめましたが、その後の被害状況を確認すると、大変厳しい状況は続いているとのことでした。実は、市長への手紙などでも深刻な状況のお声は届いています。担当する農水産課では、今後も農協と協力しながら、効果的な対策を考えていきます。その時には、どのような方法が効果的かという御意見を聞かせてください。皆様の御意見を参考にさせていただきながら、対策を進めていきたいと考えます。

### 【参加者】

重油や肥料などの値段は高く、農薬も値段が高い良いものを使わなければ作物の病気が治りません。湘南農協からは独自に補助をいただいています。今の農業は非常に経費がかかり、農業を諦める農家もいます。

### 【市長】

農業の課題も厳しいものがあります。平塚市には良い産業がバランスよくあります。今日も昼に、産業活性化会議がありました。今年度から立ち上げた会議で、農業、商業、工業、漁業、観光を結び付けて発展を図り、新しい価値を生む具体的な政策をはじめています。例えば、平塚市内で、農産物を漁港で販売したり、海産物をあさつゆ広場で販売するなどの連携もはじまっています。他には、相模半白節成という半分白いきゅうりを復活させる動きもあり、それぞれの産業の魅力を高めていきたいと考えています。地域経済の活性化を図ることも私の仕事であると考えます。



## ⑥ 地域活動について

### 【参加者】

めぐみが丘自治会の理事は若く、多くの方が会社勤めです。自治会の会議への出席も難しいです。中には、会議当日に退社を早めていただいたり、夜勤中に電話にて会議に参加させていただいたりしている理事もいます。自治会は平塚市を知る良い機会です。自らのまちを知っていただける自治会の活動に多くの方が参加するために、会社には自治会活動を理解していただけるよう、行政からも呼びかけていただきたいです。

### 【市長】

自治会活動による地域づくりに本当に感謝いたします。自治会を通して行政の情報を広めていただき、また、行政から地域の皆様にもお願いすることも多く、本当に御負担をおかけしています。機会があれば、会社にも自治会活動の御理解を呼びかけたいと考えるとともに、自治会の役員の方には御負担をかけ過ぎない体制も考える必要があります。

難しい言葉ですが、地域内分権というものがあります。これからは、地域の皆様が地域の課題や問題を捉えて解決できる体制をつくっていきたいと考えます。将来、地域の体制が整えば、現在行政が地域の美化活動など、使用目的を指示させていただきながらお出ししている補助金を一括にて支給し、地域の皆様が補助金の使用目的を決めていただく体制が望ましいと考えています。その体制づくりのために、行政は一生懸命協力させていただきます。そして、その体制づくりにおいても、この吉沢地区は平塚市の中で先頭に行く地域であると認識しています。ぜひ、吉沢地区の皆様が行っていただいている先進的なまちづくりを平塚市内の他の地域にも発信していただきたいと思います。

### 【参加者】

吉沢地区では地域福祉を考えるワークショップや夢広場という居場所づくりの活動も積極的に行われています。この吉沢公民館を拠点に開催されていますが、今後は各自治会館を会場に行っていきたいと思っています。理由は、開催会場が吉沢公民館よりも、参加を希望する地域住民の家の近くにある自治会館の方が多くの方が参加できるからです。しかし、多くの自治会館は古く、洋式便所さえ設置されていない状況です。自治会館を建て替えることはできなくても、便所などの施設の充実は図りたいと思います。施設整備のために、行政からの補助は受けられますか。また、補助を受けられる場合、どの程度の補助を受けることができますか。

## 【市長】

高齢化が進み、遠くより近くの自治会館などに居場所を求める方が多くなります。吉沢地区では、見守り隊や居場所づくり、寺子屋などで本当に素晴らしい活動をしていただいています。自治会館の建て替えの際にお出しすることができる補助があります。また、便所などの施設の改修のためにも、補助をお出しすることができます。改修のための補助について、詳しい内容を担当課に確認して回答させていただきます。

### **担当課回答**（集会後、次のとおり担当課に確認しました。）

本市では、地域住民の話し合いの場や地域活動の拠点となる自治会館の新築や増改築、補修等に対して、助成を行っています。

補助額は、工事費の2分の1以内の額で、防災倉庫の設置や部屋の増改築等が最大500万円まで、トイレの改修や畳替え、空調設置等の補修が最大50万円までとなっています。

なお、毎年、全自治会に補修等の照会を行い、その意向を確認して予算化していますが、緊急を要する補修等にも自治会の意向を伺って対応していますので、御相談くださるようお願いいたします。

（事務担当は協働推進課地域自治推進担当）

## 7 市長によるまとめ

今日は吉沢地区が直面する問題や課題を聞かせていただきました。的確なお答えができなかったこともあったかと思いますが、改めて担当に確認して回答させていただきたいと思います。

様々な課題を聞かせていただく中、早急に予算をかけて対応したいこともありますが、予算には限りがあります。できるところから計画的に行っていくことをしっかりと皆様には説明していきたいと考えますので、御理解をお願いいたします。

吉沢地区は、地域の皆様が地域のあり方を自ら捉えて動く力がある地域です。吉沢地区の皆様の英知を結集し、この地域独自のまちづくりを積極的に進めていただきたいと思います。そのために、行政も皆様と一緒にって同じ方向を向き、進んでいきたいと考えます。

今日は皆様の率直な御意見をいただき、本当にありがとうございました。

## アンケート結果報告

【回答数 20件（参加者 11件 傍聴者 9件）】

### 参加者・傍聴者について

#### 年齢

20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明
0名	0名	1名	1名	9名	8名	1名

#### 性別

男性	17名
女性	1名
回答なし	2名

**質問1** 今回の「ほっとミーティング」の開催はどこでお知りになりましたか。

#### 回答

	参加者	傍聴者	計
広報ひらつか	4名	0名	4名
ポスターやチラシ	0名	0名	0名
町内会など地域から	7名	8名	15名
市ホームページ	0名	1名	1名
その他	0名	0名	0名
回答なし	0名	0名	0名

**質問2** 市長との対話はいかがでしたか。

#### 回答

	参加者	傍聴者	計
よかった	9名	6名	15名
まあよかった	2名	2名	4名
どちらともいえない	0名	0名	0名
あまりよくなかった	0名	1名	1名
よくなかった	0名	0名	0名
回答なし	0名	0名	0名

**質問3** 質問2であまりよくなかった、よくなかったと答えた方について、市長との対話でよくなかった点はどのような点ですか。

**回答** ・なし

**質問4** 御自身の考えや思いは伝わりましたか。(参加者対象)

**回答**

伝わった	4名
まあ伝わった	3名
どちらともいえない	0名
あまり伝わらなかった	1名
伝わらなかった	0名
回答なし	3名

**質問5** 質問4であまり伝わらなかった、伝わらなかったと答えた方について、御自身の考えや思いについて、伝わらなかった点はどのような点ですか。(参加者対象)

**回答** ・なし

**質問6** 対話集会について、御感想や運営への御提案はありますか。

- 回答**
- ・市長の率直な話を聞いたことが一番の収穫でした。
  - ・このような対話を続けてほしいです。
  - ・参加者が地域のことを知るために、地図を配布したらよいと思う。
  - ・対話になっていない。新鮮味がない。
  - ・傍聴者からの質問も受けてほしい。